

地域整備方針

(長崎市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
長崎中央地域	<p>〔都市再生緊急整備地域〕</p> <p>長崎は、アジアに近く、古くは外国との交流の拠点として機能する等、豊かな歴史・文化を有し、人的資源の集積で発展し、長崎港を中心とした少ない平坦地に商業、業務機能が集積している。</p> <p>近年、自然減や社会減の拡大により、人口減少が顕著化し、危機感が大きくなっている。</p> <p>一方、陸の玄関口である「長崎駅周辺」では、九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）の整備による広域な都市間交流の活性化、海の玄関口である「松が枝周辺」では、クルーズ客船の受け入れ体制の強化などによる国際ゲートウェイ機能の再構築等、100年に1度の開発が進められている。</p> <p>これらの玄関口の整備と併せて、歴史と賑わいの「まちなかエリア」、交流と賑わいの「中央エリア」の魅力を高め、相互に連携し、来訪者を広く回遊させ、賑わい再生を図る取組みや、IT、航空機、海洋エネルギー関連等といったポテンシャルの高い新たな産業の導入等、雇用創出を図る取組みを今後も強力に推し進める。</p> <p>その中で、産学官金で連携を図りながらまちの新たな拠点や、新しいライフスタイル、ビジネススタイルの構築、中心商店街の再生や多様で魅力ある都市機能を形成することで、雇用環境や楽しむ場の充実、暮らしやすい環境の実現などにより、人々から選ばれるまちを目指し、人口流出の抑制や人口流入の促進を図り、長崎都心地域が都市再生の牽引役となり、さらなる民間投資を呼び込むことで、長崎市のみならず、周辺自治体にも経済効果を波及させ、地方における都市の再生モデルとしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○国内外からの来訪者や地域住民の多様な活動を支える交流機能の充実 ○新幹線の整備やクルーズ船の来航に伴い増加する来訪者の受け入れ機能の強化 ○目的地までの移動を円滑にする二次交通機能や交通結節機能の強化 ○若い世代を始めとした、多様な市民、来訪者が楽しめる娯楽の提供 ○買い物が楽しめる魅力的な商業機能の充実 ○若年層や子育て層が安定した生活が得られる等、魅力的な雇用の創出 ○子育て世代も安心・安全・快適に生活できる居住機能の確保 ○防災機能を高める事業の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○都市の魅力を生かして交流推進を図るMICE施設の整備 ○玄関口としてのおもてなし空間を創出する駅前広場や松が枝国際観光船埠頭における観光交流機能の整備 ○新幹線やクルーズ客船による来訪者を都心部の商業地や主要な観光施設へ円滑に移動させる交通機能の整備 ○魅力にあふれ、地域への愛着を創出するスポーツ施設、アリーナ施設、アミューズメント施設等の整備 ○新たな賑わいの創出に向け、広場や質の高い文化施設等の整備 ○商業の活性化に向け、地域の新たな賑わいの核となる施設の整備 ○公共施設整備や都市開発事業で生み出された空地等を活かした憩い空間の確保 ○子育てに対する支援施設や子育て世代が働きやすい環境の整備 ○暮らしやすい環境を創出する道路や公園等の整備 ○安全・安心・快適にまち歩きを楽しめる歩行空間の形成 ○安全・安心な生活に向けた都市防災施設の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な関係者が連携し、都市の魅力や来訪者の受け入れ態勢の強化による観光産業の活性化 ○インフォメーション機能の充実を図り、国内外の来訪者への情報発信 ○MaaSの活用、交通結節機能の整備等、鉄道や路面電車、バス等の公共交通の連携強化による利便性の向上、移動円滑化の促進 ○スタジアム等を活かし、スポーツの産業化の増進 ○歴史的な文化や伝統を生かしたまちづくりによる都市の魅力の強化 ○未来技術の活用による都市の魅力の強化 ○空地の活用や容積率の割増等により、施設更新時期を迎える建物の建替を誘導し、魅力的な商業の拠点施設や居住施設、憩いの空間等の創出 ○用途地域の見直し等による土地利用の転換の促進 ○交流の産業化による雇用の創出 ○長崎の強みを活かして、国内外から魅力的な企業の立地誘導を促進し、地域経済の振興、新規雇用の創出の促進 ○安全・安心で快適な暮らしの継続に向けた、都市機能集約化の促進 ○まちなかエリア及び中央エリアへの回遊性の向上 ○歴史的な趣と近代的な都市空間の形成と夜間景観の向上、また、民間による景観形成の取組みの促進 ○防災意識の向上による都市防災性の向上